

## KFC-NEWS 2000.2.17 No.32

---

### ■■■近況報告■■■

KFC の活動にも今後かかわってくると思いますが、東京の入国管理局に日本での在留資格を求めて集団で自首したオーバーステイのイラン人などの中で、「特別在留許可（法務大臣の裁量で日本に住むことが許される資格）」を認められることになった人がうまれました。

子どもたちの年齢（学齢期に達していたかどうか？）が、認可のひとつの基準になったようですが、いままでの木で鼻をくくったような姿勢にくらべると、全員ではないにはせよ日本で育っている子どもに配慮した姿勢が入管行政の中にもうまれたことはひとつの大きな快挙であると思います。

日本はいまだ血統主義（血の論理……何をもって血統というのか国際結婚が増えている今日よくわかりませんが）に固執していますが、子どもが生まれた地域の中で祝福されないようないまの制度がいいとは思えません。

ただ単純に国境なんていない！国籍なんていない！というような歌詞のようなことはいえませんが、日本の偏狭な血統主義は人道的な観点から見直しが必要だと思います。

前置きが長くなりましたが、KFC の近況は、年度末に向けて講座のまとめや冊子の作成、報告会の開催といった作業に追われています。

今年の活動を振り返ってみると、今年度は KFC 単独で実施した事業だけでなく、横のネットワークを活かした活動が活発であったと思います。また従来は、定住外国人のニーズに対応していくというスタイルで事業を進めてきましたが、人材（マジョリティ、マイノリティを含めた）育成や問題の予防的な取り組み、新しい技術を活かした事業の展開、、、というように、活動の幅も少し広げられたのかなとも思います。

楽しい春に期待して厳しい冬の仕事（事務作業の洪水）をこなしていくしかないこの頃です。

（金宣吉）

---

2000年2月より KFC 事務局への連絡は月～金の9:00～16:30になります。

相談窓口は火～金の10:00～16:30です。

---

### ■■■神戸テトを終えて■■■

今年も神戸テト（テトは旧正月の意味）をすることが決まってから、私はあまり眠れませんでした。去年のこともあったので心配して仕方がなかったのです。まあ自分が出来るところから少しずつしていくことにしました。

神戸テトは、2月6日にマリスト国際学校で行われました。この日は雨で会場も分かりにくかったにもかかわらず250人位の参加者がありました。11店舗でいろんなコーナーが準備しました。珍しく、面白い物などを発見して、真剣な顔で説明を聞く姿もありました。神戸テトはベトナム人の手で作るのはこれで2回目（以前の3回は日本人の手で）なので少し慣れたと思ったけれど、やっぱりトラブルもありました。一番大きいのは、ある事情で開幕時間がなん～と1時間も遅れま

した。その後の流れは順調でよかったです。母国の華やかな正月が味わうことが出来なかったら、せめてここだけでも新年の挨拶や久しぶりに知り合いと会って話し合う場になればと思いました。あいかわらず皆はカラオケ大好きで最後の最後まで歌いつづけました。反省点もありましたが、毎年の行事だから来年はもっとちゃんとしたと思うし、周りの人々とのこの交流の場を大切にしたいと思います。

(ハ ティ タン ガ)

---

## ■■■KFC 北米 STUDY TOUR 報告11■■■

省略

---

## ■■■日本語プロジェクト■■■

### ■来年度のグループレッスンについて

現在のグループレッスンが3月で終了します。4月からは、新しいグループを設定し、募集いたします。

Aグループ：入門コース 19:00～20:30 (火・木)

Bグループ：初中級コース 19:00～20:30 (月・金)

また、現在100時間修了者やグループレッスン修了者のための「おしゃべり広場」を開催しておりますが、それ以外に、漢字クラスや文章クラスの設定を検討しております。これらのコースは3カ月程度の短期コースとして設定し、5月ぐらいからのスタート予定です。

### ■日本語支援希望者のためのオリエンテーション

参加者は少なく5名でしたが、新長田の教室にてオリエンテーションを行いました。

KFC の活動内容や日本語の教室紹介に熱心に耳を傾けてくださいました。お話が終了してからは、勤労市民センターに場所を移し、そこで行われている日本語教室を見学しました。短い時間ではありましたが、充実した一時を過ごしていただけたと思いますし、今後 KFC の活動にご協力いただけることを願っています。

### ■おしゃべり広場

1月30日(日) 第3回のおしゃべり広場が KFC 日本語教室で行われました。今回は残念ながら学習者の集まりが今ひとつで、ベトナムの方1名のみでした。“成人式”をテーマにすすめる予定でしたが、内容を変更し、学習者1名、支援者5名でお茶とお菓子を囲み、1時間半ほどフリートーキングをしました。

次回(2月27日)はたくさんの方が集まってくださることを願っています。

(平田智子)

## ■3月の親睦会について

3月に日本語支援者の親睦会を予定しております。詳細につきましては、まだ未定ですが、決まり次第ご連絡させていただきますので、ぜひ、ご参加ください。

## ■講演会「外国人住民と居住問題」をきいて

「外国人住民と居住問題」というテーマで、まち居住研究会の稲葉佳子さんが講演をされた。雑誌『住宅』によれば、このグループは、まちづくりや建築に関わる専門家による自主的研究グループとしてスタートし、日本に外国人居住者が急増した1990年から外国人居住問題に取り組んでいる。調査対象地域は、東京・新宿の歌舞伎町に隣接する新大久保駅中心。この地域は、1980年代後半から、外国人が急激に増加したところで、これにともなって就労外国人や留学生、就学生が集まってきた土地である。さらにこの地域には木造アパートやマンションが多くあり、外国人にとって職住近接の便利な場所であった。このような状況のもと、不動産業者や家主に対してアンケートをし、外国人居住問題について新たな取り組みを実行している。今回は KFC ニュースでもたびたび取り上げられている入居差別などに関しての話が中心だった。

まず、外国人に家をあっせんすることを、不動産業者はどう考えているだろうか。不動産業者の約1割が外国人であれば貸さないと全面的に否定している。残りの9割近い人が好意的に貸してくれば、それほど問題はないのだが、もろもろの問題であっせん状況はとても悪い。何かあったら困るという心理もわかるし、実際に入居させた経験があっせん状況はとてつ悪い。何かあったら困るという心理もわかるし、実際に入居させた経験があっせん状況はとてつ悪い。何かあったら困るという心理もわかるし、実際に入居させた経験があっせん状況はとてつ悪い。

まず、外国人に家をあっせんすることを、不動産業者はどう考えているだろうか。不動産業者の約1割が外国人であれば貸さないと全面的に否定している。残りの9割近い人が好意的に貸してくれば、それほど問題はないのだが、もろもろの問題であっせん状況はとてつ悪い。何かあったら困るという心理もわかるし、実際に入居させた経験があっせん状況はとてつ悪い。何かあったら困るという心理もわかるし、実際に入居させた経験があっせん状況はとてつ悪い。

今回の話は、東京・大久保に住む外国人、なかでも主として留学生、就学生が対象であった。関東と関西、留学生と定住者の違いはあっても、入居差別は彼らが直面し、KFC が取り組んでいる

問題の一つである。長田で実際にあった入居差別に関わる実態を東京・大久保の事例がアンケートの答えで立証しているようにも思える。

これまで、外国人の住居問題など考えたこともなかったのだが、日本人と同じように暮らしたいと思っている人たちについて、今回の話は漠然と眺めていたものに焦点があい、改めて考える良い機会を与えられたようにも思える。入居差別の問題は必ずしも外国人に限ったことではない。この先、日本は高齢化がすすみ、高齢者、障害者や幼児を抱える者にとっても、住宅問題は人のことと傍観してはられない。

(高橋博子)

---

### ■■■今後の予定■■■

●外国人高齢者のためのコミュニティステーション事業  
毎週木曜日10:00～15:00、ピフレホール

●地域国際化ボランティアのための地域活動推進員講座  
第6回「外国人住民の自立支援プログラムを考える」  
2月19日（土）15:00～17:00、新長田勤労市民センター講習室2

●日本語教室のおしゃべり広場  
2月27日（日）13:30～15:30、KFC 日本語教室  
テーマは「ひな祭」

●MISDON（KOBE 外国人支援ネットワーク）報告会  
2月26日（土）14:00～16:00、ピフレホール会議室A  
AMDA ビデオ上映会ほか

●運営会議  
2月25日（金）15:00～、KFC 事務所  
3月10日（金）15:00～、KFC 事務所

[前のページに戻る](#)